始業式　あいさつ　　2021,04,08

みなさん、おはようございます。いよいよ令和３年度の始まりです。

昨年、地域連携カリキュラム「７つのゆめのたね」というものを、地域協育ネット協議会、つまり、小中の先生方、幼稚園・保育園の先生方、その保護者の方々、そして地域の方々が一緒になって作り、学校だけでなく各家庭や地域の事業所に配付し掲示していただきました。これは、みなさんにこんな人になってほしいと願いを込めて作ったものです。

その７つのゆめとは、「あいさつ」「おもいやり」「家庭学習」「コミュニケーション」「サイレント清掃」「LOVE あじす」「夢づくり」の７つです。

どれも皆さんは日頃の生活の中で意識していることだと思いますが、今日はその中から特に二つを取り上げて話したいと思います。

まず、一つ目は「家庭学習」です。実は、阿知須地域の小中学校では、家庭学習の時間を「学年×10 分以上」と決めて、取り組むように促しています。1 年生は通算 7 年生なので、70 分以上、2 年生は 80 分以上、3 年生は 90 分以上が目標です。日々、実行できていますか？新しい学年に進級して、それぞれが将来の高校進学を目指して、取り組んでいくことだと思いますが、是非この家庭学習の習慣を身に付けてください。

先日、大変感動したことがありました。水泳のオリンピック代表を決める日本選手権で、血液の癌と言われる白血病から復帰した池江璃花子選手が 100ｍバタフライで優勝し、オリンピックの切符を手に入れました。そのレース直後のインタビューで彼女は涙ながらに言っていました。「自分がすごくつらくてしんどくても、努力は必ず報われるんだ。」この言葉を聞いて、思わず私ももらい泣きをしてしまいました。

みなさんも、毎日勉強するのは苦しいかもしれませんが、池江選手のように、『努力ができる人』になってほしいと思います。毎日毎日、努力を積み重ね、それが習慣になると、その苦しさは普通になります。ぜひ、目標を掲げて、自分なりの努力を継続していきましょう。

二つ目は、「おもいやり」です。昨年はコロナの影響で学校に登校できず、苦しさが続く日々がありました。そして、久しぶりに登校し、クラスや部活の仲間と顔を合わせ、一緒に活動したときの何とも言えないうれしかった気持ちを覚えていますか。友人と楽しく話ができる、一緒に勉強ができる、一緒に部活ができる。当たり前のようで当たり前ではなかったですね。そういう一瞬一瞬を大切にしてほしいと思います。そして、お互いが楽しく生活できるように、言葉や行動に気をつけ、思いやりをもって、人に接してほしいと思います。

私の好きな詩に、星野富弘さんの「くちなし」という詩があります。

鏡に映る顔を見ながら思った
もう悪口をいうのはやめよう
私の口から出たことばをいちばん近くで聞くのは
私の耳なのだから

星野富弘

そうです。自分の口から発する言葉を、一番近くで聞くのは自分の耳です。汚い言葉を吐けば、自分の心も汚れていきます。温かい言葉を使えば、自分の心も温かくなります。自分の言葉や態度で、相手がどんな気持ちになるか、相手の立場になって考えられる優しい心の持ち主になってほしいと思います。

以上、「家庭学習」と「思いやり」。この二つを全員が意識して生活し、誰もが安心して生活し、それぞれが力を付け成長していく一年間にしましょう。